

2024年度後期 開講学科別集計結果表

常葉大学

開講学科	保育学科	履修者数	2,305
		回答者数	1,037

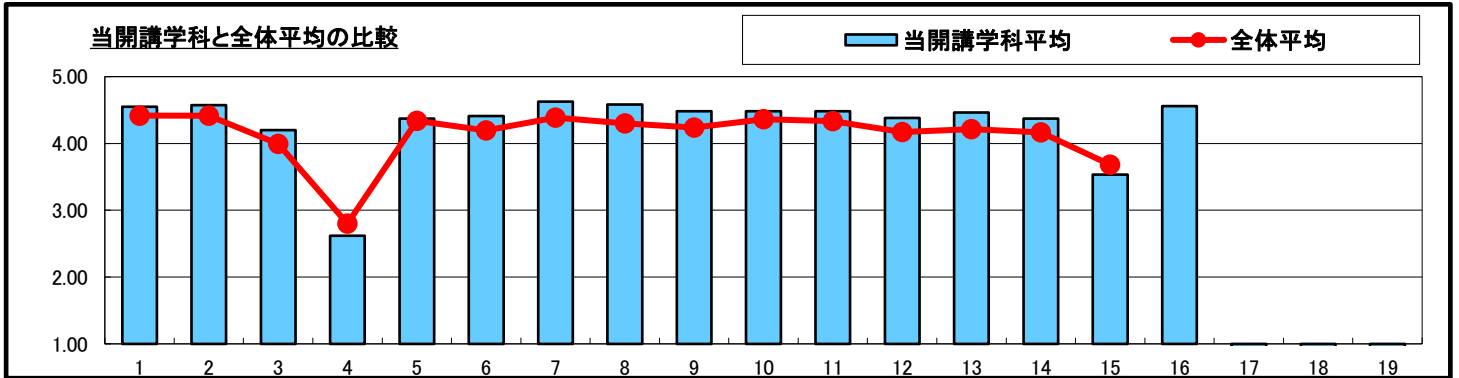
学年 マーク	回答者数／構成比（％）				
	1年	2年	3年	4年	無効回答
	331 31.9	348 33.6	313 30.2	45 4.3	0 0.0

No.	設問文	平均	回答者数／構成比（％）					有効 回答	無効 回答	
			5	4	3	2	1			
			とても そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
▼全学部共通の質問項目										
1	学修環境（プロジェクタ・音響・空調・照明・静粛性）は良好であった	4.55	646	329	46	12	2	1,035	2	
			62.4	31.8	4.4	1.2	0.2			
2	クラスサイズ（受講者数）やグループサイズは適切であった	4.57	675	301	47	8	6	1,037	0	
			65.1	29.0	4.5	0.8	0.6			
3	周りの学生の熱意が感じられた（熱心に授業に参加していた）	4.20	439	417	133	34	11	1,034	3	
			42.5	40.3	12.9	3.3	1.1			

▼学部レベルの質問項目									
4	この授業に対する授業時間外学修にどの程度の時間を費やしましたか（1回の授業の前後）	2.62	2時間以上 99 9.6	1時間以上 2時間未満 151 14.6	30分以上 1時間未満 292 28.2	30分未満 244 23.6	全くして いない 249 24.1	1,035	2
5	シラバスに則した内容の授業が行われていた	4.37	559 54.0	327 31.6	132 12.7	13 1.3	5 0.5	1,036	1
6	この科目の難易度は適切であった	4.41	569 55.0	358 34.6	75 7.3	26 2.5	6 0.6	1,034	3
7	この科目は学部・学科の学びを深める上で有益であった	4.63	721 69.8	257 24.9	40 3.9	12 1.2	3 0.3	1,033	4
8	この科目は自らのキャリア形成や将来を考える上で役立った	4.58	689 66.6	284 27.5	41 4.0	14 1.4	6 0.6	1,034	3
9	【対面授業の場合】 この科目は対面で受講することが適切であった 【ポータルサイト等を活用した授業（オンライン授業）の場合】 この科目はオンラインで受講することが適切であった	4.48	661 63.8	260 25.1	78 7.5	27 2.6	10 1.0	1,036	1

▼教員個人レベルの質問項目									
10	教員の話し方は明瞭で聴き取りやすかった	4.48	642 62.0	293 28.3	69 6.7	23 2.2	9 0.9	1,036	1
11	板書、スライド、配布資料などは適切であった	4.48	629 60.7	306 29.5	78 7.5	18 1.7	5 0.5	1,036	1
12	学生に質問や意見を求める、発表の機会を設けるなど授業への参加を促していた	4.38	588 57.0	306 29.7	94 9.1	32 3.1	12 1.2	1,032	5
13	学生の反応や理解を確認しながら授業を展開していた	4.46	611 59.1	327 31.7	64 6.2	24 2.3	7 0.7	1,033	4
14	必要に応じて学生の受講態度への注意を適切に行っていた	4.37	574 55.5	329 31.8	87 8.4	33 3.2	12 1.2	1,035	2
15	この授業のシラバスを読みましたか	3.53	十分に 読んだ 270 26.1	よく読んだ 310 30.0	どちらとも いえない 240 23.2	ほとんど 読まなかった 130 12.6	全く読んで いない 85 8.2	1,035	2

▼学科設問									
16	この授業の学修を通して、保育学部のDP 5項目のうち1項目以上の力を身に付けることができたか	4.56	660 63.8	310 30.0	49 4.7	10 1.0	5 0.5	1,034	3
17		-	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0	1,037
18		-	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0	1,037
19		-	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0	1,037



2024 年度後期授業アンケート 学科別集計結果表に対する講評

学科／課程	保育学科
講評者	保育学科長 柴田賢一

設問	講評
設問 1～3 「全学部共通の質問項目」について	保育学部は全ての項目において、大学全体を上回る数値であった。特に「3 周りの学生の熱意が感じられた」については、前期の公表でも記した通り、免許・資格養成における熱意の高さの表れであると考えられる。
設問 4～9 「学部レベルの質問項目」について	前期同様、総体的に大学全体の数値を上回っているものの、項目 4 の授業時間外学修に対する数値が顕著に低い。保育学部の学生が授業の時に参加型の学修で学びを深めるが、授業への準備や時間外での取り組みが少ない傾向にあることについては、今後も注視したい。
設問 10～15 「教員個人レベルの質問項目」について	項目 15 のみが顕著に低い傾向は前期同様である。シラバスを事前に読むことを、ガイダンス等を通じて学生に周知したい。 10～14 については大学全体との比較では良好な数値であると考えられる。さらに向上を目指したい。
設問 16～ 「学科設問」について（該当学科のみ）	学生が学科の DP に即した学習成果をおおむね修めているものと考えられる。引き続き、DP と関連付けた学習成果の習得に向けて学科全体で尽力していきたい。